

令和5年度 ながさき農林業大賞受賞者一覧（運営委員長賞・特別賞）

1 運営委員長賞

部門及び区分	氏名・組織名等	市町	経営規模等	地区
1 露地野菜部門 (トップファーマー)	きのした りゅういちろう 木下 隆一郎	諫早市	たまねぎ 水稲他 320a 205a	県央
2 施設野菜部門 (トップファーマー)	ひら としき まゆみ 平 利樹・真由美	長崎市	いちご ハウスすいか他 28a 80a	県央
3 果樹部門 (トップファーマー)	ほり あきとし えり 堀 秋利・衣梨	諫早市	ハウスみかん 繁殖牛 ゴーヤ他 50a 7頭 28a	県央
4 花き部門 (トップファーマー)	くりばやし けんいち あきこ 栗林 健一・亜紀子	雲仙市	トルコギキョウ ストック 草花類 メロン 50a 40a 20a 30a	島原
5 畜産部門 (トップファーマー)	かぶしきがいしゃ まつもと 株式会社 松本ポーター	島原市	採卵鶏 125,700羽	島原
6 畜産部門 (トップファーマー)	まえがわ つねたろう 前川 常太郎	平戸市	繁殖牛 67頭	県北
7 農産部門 (トップファーマー)	かわぐち ふとし しゅういちろう とよこ さき 川口 太・秀一郎・豊子・沙貴	諫早市	大麦・小麦 大豆 水稲 いちご 1,980a 2,050a 230a 28a	県央
8 特産部門 (トップファーマー)	たかなぎ よしゆき のりこ ぜんご 高柳 善幸・法子・善伍	南島原市	葉たばこ たまねぎ 雑穀他 300a 20a 80a	島原
9 産地集団部門 (いきいきファーム)	ながさきけんおのうきぎょうきょうどうくみあい 長崎県央農業協同組合 おぐし トマトくみあい 小串トマト組合	川棚町	トマト きゅうり 2.1ha 1.5ha	県央

2 特別賞

部門及び区分	氏名・組織名等	市町	取組内容	地区
1 特別部門	おおさかちゅうおうせいしかかぶしきがいしゃ せんむとりしまりやく 大阪中央青果株式会社 専務取締役 かたやま ひろのぶ 片山 博信	大阪市	・長年にわたり、中部・関西地域における長崎県産いちごの販路拡大や本県産ブランドみかんの関西での販路開拓に尽力。 ・平成28年から「長崎県産品ブランド化・流通戦略実施本部アドバイザー」として、本県青果物の販路拡大の取組やブランド化・流通対策への提言等により、大阪中央卸売市場での取扱高の増加だけでなく、いちご産出額100億円突破など、本県農業産出額の増加に貢献。 ・平成27年から令和4年まで、「ながさき農林業・農山村活性化計画推進委員」として、「活性化計画」の策定や進捗への提言などを通じ、本県農林施策の推進に大いに貢献。	-
2 特別部門	いっばんしやくだんほうじん ながさきけんりゅうゆうかい 一般社団法人 長崎県猟友会	長崎市	・県内で唯一、狩猟にかかる法令及び猟具等に関する専門的知識を有する団体として、県とも連携し捕獲従事者の確保育成、法令順守、安全対策の普及啓発等に取り組む。 ・捕獲従事者育成の取組などにより、狩猟免許所持者数は増加し、本県のイノシシの捕獲頭数は年間4万頭前後と高い捕獲圧を維持しており、本県の農業の維持発展に多大に貢献。 ・市町と連携し、農作物被害対策としての3対策（防護、棲み分け、捕獲）の一つの柱である捕獲対策を主に担うとともに、近年増加傾向の、野生動物の市街地出没時の対応等についても、重要な役割を担っている。	-

運営委員会長賞 受賞部門：露地野菜部門（トップファーマー）

氏名

きのした りゅういちろう  
木下 隆一郎

市町名 諫早市

所属団体 長崎県中央農業協同組合玉葱部会



1 経営の概要

	主品目（たまねぎ）	その他	合計
作付面積(頭羽数)	320a	キャベツ 30a かぼちゃ 20a ニガウリ 25a 水稲 130a	525a
単収	3,770kg/10a	-	-
生産量（販売量）	120.6t	6.2t	126.8t
労働時間 （うち雇用時間）	4,840 時間 （1,648 時間）	1,928 時間 （0 時間）	6,768 時間 （1,648 時間）
家族従事者数	4 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	生産履歴記帳、資源循環の取組（地域内資源利用）		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

（1）平成 28 年の就農開始以降、基盤整備地を中心とした農地利用と遊休農地解消により作付面積を2倍に拡大しており、県中央たまねぎ部会トップの作付面積、出荷量を誇っている。

（2）高単価販売、低農薬栽培が可能な超極早生、極早生たまねぎ中心の経営にシフトしてきているほか、省力化機械や個人育苗をいち早く取り入れるなど部会内の先導的な生産者である。

（3）土壌改良及び諫早湾の水質改善のため、たまねぎ後作での緑肥栽培による土壌流亡対策に積極的に取り組まれている。また、地域リーダーとして、有害鳥獣対策をはじめとする農村の環境整備にも積極的に取り組まれている。



たまねぎを播種したトレーを育苗床に並べる作業

運営委員会長賞 受賞部門：施設野菜部門（トップファーマー）

氏名

平 利樹

平 真由美

市町名 長崎市

所属団体 JA 長崎せいひ  
ことのうみいちご部会



1 経営の概要

	主品目（いちご）	その他		合 計
作付面積（頭羽数）	28a	ハウスすいか他	80a	108a
単収	6,140kg/10a	-	-	-
生産量（販売量）	17.2t	-	-	-
労働時間 （うち雇用時間）	-	-	-	8,160 時間 （960 時間）
家族従事者数	4 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下	
労働条件の整備	家族経営協定締結			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	防虫ネット、天敵利用、太陽熱消毒、生産履歴記帳、資源循環の取組			

2 受賞の理由（特徴的な取組）

（１）施設野菜の複数品目（いちご、ハウスすいか他）で経営を行うことでリスクを分散し、経営安定を図っている野菜専門の経営体である。

（２）地域でもいち早く環境制御技術を取り入れ、部会内に積極的に推進。令和元年には、統合環境制御装置を導入しデータを基にしてハウス内の機器類を一体的に制御する環境を整えた。

（３）生産者自らが考える部会組織にするため、現地検討会

は全圃場で開催することを提案し、現在も実践している。県内部会で 1 位の単収を獲得後も、加えて環境データを部会員全員が共有できる体制を整備することで、部会員同士の情報交換が活発となり、部会のさらなる単収向上に寄与した。

（４）就農希望者を地域として積極的に受入れ、手厚いフォローアップを行っており、さらに部会長として若手が発言しやすい環境を整えることで、新規の継続的な加入に繋がる等産地の発展に寄与している。



いちごのバック詰め作業

# 運営委員会長賞 受賞部門：果樹部門（トップファーマー）

氏名

ほり あきとし  
堀 秋利

ほり えり  
堀 衣梨

市町名 諫早市

所属団体 長崎県央農業協同組合

ハウスみかん部会



## 1 経営の概要

	主品目（温州みかん）	その他	合計
作付面積(頭羽数)	ハウス 50a	肉用牛 7頭 ゴーヤ 17a 水稲 11a	作物 78a 肉用牛 7頭
単収	6,122kg/10a	-	-
生産量（販売量）	30.6t	-	-
労働時間 （うち雇用時間）	5,662時間 （773時間）	2,426時間 （515時間）	8,088時間 （1,288時間）
家族従事者数	4人	経営の継続性	経営主が60歳以下
労働条件の整備	家族経営協定締結		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	適期防除による防除回数低減、有機質肥料の施用、資源循環の取組（自己完結）		

## 2 受賞の理由（特徴的な取組）

- (1) ハウスみかんを中心にした経営体であり、近隣の休園していたハウスを借り受け、規模拡大を行っている。
- (2) 安定生産に向けて老木園の改植に積極的に取り組み、天井ビニールの3重化や循環扇による温度ムラの解消等の省エネ対策を実践している。
- (3) 平成19年から令和2年まで農業士として、青年農業者の育成にあたるなど、地域農業振興に大きく貢献している。



ハウスの張り替え作業

運営委員会長賞 受賞部門：花き部門（トップファーマー）

氏名

くりばやし けんいち  
栗林 健一

くりばやし あきこ  
栗林 亜紀子

市町名 雲仙市

所属団体 フラワーファーム国見



1 経営の概要

	主品目（花き）	その他	合計
作付面積(頭羽数)	トルコギキョウ 50a ストック 40a 草花類 20a	メロン 30a	140a
単収	トルコギキョウ 31,958 本/10a ストック 44,269 本/10a	-	-
生産量（販売量）	トルコギキョウ 159,789 本 ストック 177,075 本	-	-
労働時間 （うち雇用時間）	16,088 時間 （10,488 時間）	3,432 時間 （552 時間）	19,520 時間 （11,040 時間）
家族従事者数	4 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下
労働条件の整備	家族経営協定締結		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	減化学農薬の取り組み（防虫ネット、防蛾灯、粘着板、紫外線カットフィルム）、 有機質資材の利用、生産履歴記帳、資源循環の取組（地域内資源の利用）		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- （１）有機質資材や土着菌、乳酸菌を活用した自家製微生物資材を投入するとともに、緑肥作物との輪作等による土づくりの実践により、土壤病害の発生を抑制し、高収益栽培を実現している経営体である。
- （２）トルコギキョウでは、全国的にも導入の少ないペーパーポットによる大苗育苗を行い、初期生育を充実させることで品質向上を図るとともに、環境制御機器を導入し、炭酸ガス施用、湿度管理により花卉の強い切り花生産を行い、国内外の市場等から高い評価を得ている。
- （３）農大生、農高生を数多く受け入れるなど、若手農業者の育成に大きく貢献。



トルコギキョウの整枝作業

# 運営委員会長賞 受賞部門：畜産部門（トップファーマー）

法人名

かぶしがいしゃ まつもと  
株式会社 松本ポーター

代表者名 代表取締役 まつもと まさひろ  
松本 将宏

市町名 島原市

所属団体 島原市養鶏協会



## 1 経営の概要

	主品目（採卵鶏）	その他	合計
作付面積(頭羽数)	125,700 羽	卵加工品	125,700 羽
単収	年間平均産卵率 90%	-	-
生産量（販売量）	1,900t	-	
労働時間 （うち雇用時間）	29,040 時間 （24,000 時間）	4,800 時間 （4,800 時間）	33,840 時間 （28,800 時間）
役員数	3 人	経営の継続性	法人設立（平成 27 年）
労働条件の整備	就業規則に関する規定有		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	抗生剤の使用低減、特殊卵パッケージにモールドパック（再生紙）使用、 生産履歴記帳、生産履歴記帳による販売、エコフィード利用		

## 2 受賞の理由（特徴的な取組）

- (1) 島原市有明町で採卵鶏経営に50年以上取り組み、平成27年に法人化し採卵以外に、加工、販売も実施している。
- (2) 飼養管理では、鶏の健康を第一に考え、餌は抗生剤を使用せず、78種類以上の天然素材にこだわり、またコンサル獣医の指導を受けることにより、優良な採卵成績をあげている。また未利用資源（焼酎粕などのエコフィード）や、LED照明、自動給餌機等の活用により省力化・低コスト化にも取り組んでいる。
- (3) GP施設（洗卵選別包装システム）も導入し、5種類の特殊卵は機能性成分も高く、自社販売を行っている。またロゴマークを作成しブランド商標登録を行い、全国の百貨店等への固定客を確保するとともに、直売所、ホームページ、SNSによる販売と消費者との交流も行っている。
- (4) 地域での雇用のほか、外国人材を積極的に活用し、労力の安定確保に努めている。また近隣の廃業養鶏農家の鶏舎を引継ぐなど産地の生産維持にも貢献している。



給餌作業

# 運営委員会長賞

受賞部門：畜産部門（トップファーマー）

氏名

まえかわ つねたろう  
前川 常太郎

市町名 平戸市

所属団体 ながさき西海農業協同組合  
紐差和牛部会



## 1 経営の概要

	主品目（肉用牛）	その他	合計
作付面積(頭羽数)	繁殖牛 67 頭	-	繁殖牛 67 頭
単収	子牛生産率 88.1%	-	-
生産量（販売量）	出荷子牛 59 頭	-	-
労働時間 （うち雇用時間）	6,480 時間 (1,840 時間)	-	6,480 時間 (1,840 時間)
家族従事者数	2 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下
労働条件の整備	家族経営協定締結		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	自給飼料生産、抗生剤の使用低減、生産履歴記帳、生産履歴記帳に基づく販売、ICT による圃場・牛群管理システム、資源循環の取組（6 者間連携）		

## 2 受賞の理由（特徴的な取組）

- (1) 飼養管理では、母牛の血液性状を基にした飼料設計や超早期母子分離に取り組んでおり、分娩間隔は全国平均の 407 日より 13 日短縮されるなど優良な成績を収め、子牛価格も県平均よりも高額で販売されている。
- (2) 牛群管理システムや分娩監視システムなどの ICT 機器を地域でいち早く導入し、労力軽減と事故率低減につなげている。
- (3) 修学旅行生等を対象に体験学習を実施し、



個体観察の様子

- 「食育」や畜産業への理解醸成に取り組まれており、県内外の肥育農家との情報交換や毎月のセリ後の若手グループの勉強会などにより、購買者の求める子牛品質を追求している。
- (4) 全国和牛能力共進会では過去 2 大会連続で出場し、いずれも上位入賞を果たされ、「長崎和牛」の認知度向上に貢献された。

# 運営委員会長賞

受賞部門：農産部門（トップファーマー）

氏名

かわぐち ふとし  
川口 太

かわぐち しゅういちろう  
川口 秀一郎

かわぐち とよこ  
川口 豊子

かわぐち さき  
川口 沙貴



市町名 諫早市

所属団体 長崎県中央農業協同組合いちご部会  
共栄干拓農業協同組合  
平成諫早湾干拓地域環境保全の会  
諫早湾干拓環境保全型農業推進協議会

## 1 経営の概要

	主品目	その他		合計
作付面積(頭羽数)	大豆 2,050a 大麦 1,180a 小麦 800a 水稻 230a	いちご	28a	4,288a
単収	大麦 431kg/10a	-	-	-
生産量(販売量)	大麦 50.9t	-	-	-
労働時間 (うち雇用時間)	1,903 時間	3,697 時間		5,600 時間
家族従事者数	4 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下	
労働条件の整備	家族経営協定締結			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	特別栽培、環境直払交付金の GAP 実践、生産履歴記帳			

## 2 受賞の理由(特徴的な取組)

- (1) 諫早湾干拓地の大区画圃場を活用した麦、大豆の大規模土地利用型経営を中心に、水稻、施設栽培(いちご)に家族経営で取り組んでいる。
- (2) 麦、大豆では大型機械によるスケールメリットを活かした農業を営み、いちごでは全面積で高設栽培、自動谷換気設備など省力、低コスト化に取り組んでいる。
- (3) 共同所有する土壌分析機械を活用した分析データに基づく施肥を実施し、施肥コストと環境負荷の低減に務めている。
- (4) 地域の農業者と作付計画の協議を実施し、連作障害に苦慮している農業者との圃場の交換を行うことで、産地全体の安定生産にも寄与している。



大型トラクター点検の様子



## 運営委員会長賞 受賞部門：特産部門（トップファーマー）

氏名

たかやなぎ よしゆき  
高柳 善幸

たかやなぎ のりこ  
高柳 法子

たかやなぎ ぜんご  
高柳 善伍

市町名 南島原市

所属団体 西九州たばこ耕作組合島原支所



### 1 経営の概要

	主品目（葉たばこ）	その他		合 計
作付面積(頭羽数)	300a	たまねぎ 20a 施設中晩柑 30a 雑穀 50a		400a
単収	267 kg/10a	-		-
生産量（販売量）	8.0t	-		-
労働時間 （うち雇用時間）	3,800 時間 （0 時間）	1,160 時間 （160 時間）		4,960 時間 （160 時間）
家族従事者数	3人	経営の継続性	後継者が就農済	
労働条件の整備	家族経営協定締結			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	土壌診断に基づく適正施肥、発生予察に基づく適期防除、深層土壌くん蒸、周辺人家・ほ場との協調、生産履歴記帳、資源循環の取組（自己完結）			

### 2 受賞の理由（特徴的な取組）

- （1）南島原市で葉たばこ 300 a、露地野菜・雑穀他 100 a を栽培する経営体。
- （2）高架型作業機、多工程同時作業ができるトラクター、移植機を地域に先がけ導入することで省力化を実現。品種特性を把握し、適期収穫などにより高収量・高品質生産を行うモデル的な農家として、南島原市の販売単価日本一に大きく貢献。



**葉たばこの省力移植作業**

- （3）雲仙普賢岳大火砕流からの復興では消防団活動で地域貢献しながら葉たばこの復興に尽力した。後継者は青年農業者として地域単協で積極的に活動し、市連、県連でも役員として活躍するなど長崎県の青年農業者活動を牽引。次世代の葉たばこ農家のリーダーとして今後の活躍が期待される。

# 運営委員会長賞 受賞部門：産地集団部門（いきいきファーム）

ながさきけんおうのうぎょうきょうどうくみあい  
長崎県中央農業協同組合

おくし くみあい  
小串トマト組合

代表者名 組合長 よしもと 吉本 あきのり 明德

市町名 川棚町

発足・設立年 昭和 38 年



## 1 組織の概要

品目	トマト（きゅうり）	構成員数 （認定農業者数）	5 人 （5 人）	産地規模	2.1ha
販売量	196t	販売額		88,752 千円	
単収	9,310kg/10a	単価		450 円/kg	

## 2 受賞の理由（特徴的な取組）

（１）組合員数 5 戸の小規模な組合であるが、高い技術力を活かして高糖度トマトを生産する組合であり、糖度測定可能な光センサーを導入するなど共同選果体制を構築し、「小串トマト」ブランドを作り上げ、高単価を維持している。

（２）平成 30 年度には全戸でモニタリング装置を導入し、環境制御技術の勉強会を積極的に行うことで、新たな技術の習得と後継者を育成している。

（３）出荷先の市場においても「小串トマト」の評価は高く、安定した取引先を確保するとともに、町内においてもブランドが認知されており、町内の飲食店では、小串トマトやその加工品を使用したメニューの提供が行われ、町の活性化にも大きく貢献しており、県内産地の参考になる優れた組織である。



現地検討会の様子

## 特別賞 受賞部門：特別部門

かたやま ひろのぶ  
片山 博信

市町名 大阪府大阪市

主な役職 大阪中央青果株式会社 専務取締役  
長崎県産品ブランド化・流通戦略実施本  
部アドバイザー（平成 28 年～）  
ながさき農林業・農山村活性化計画推進  
委員（平成 27 年～令和 4 年）



### 1. 受賞の理由

- (1) 関西の大手青果卸売会社の販売担当として、長きにわたり中部・関西地域でのいちごの販路拡大やブランドみかんの関西での販路開拓などに取り組むとともに、「長崎県産品ブランド化・流通戦略実施本部アドバイザー」として青果物の流通、ブランド化の助言などを通じ、本県青果物の単価向上、産出額の増加に貢献。
- (2) 「ながさき農林業・農山村活性化計画推進委員」として、「ながさき農林業・農山村活性化計画」の策定や進捗への提言などを通じ、本県農林施策の推進に大いに貢献。

### 2. 活動の特徴・成果

- 昭和 46 年に大阪中央青果株式会社に入社以来、販売担当として、長きにわたり、中部・関西地域における長崎県産いちごの販路拡大や、主に関東に出荷されていた JA ながさき西海のブランドみかん「味っ子」、「味まる」の関西での販路開拓に尽力。
- 平成 25 年からは JA 全農ながさき中部・関西ながさき会会長として、消費地と産地との情報交換等を通じて、県産青果物の有利販売に尽力。
- 平成 28 年からは長崎県産品ブランド化・流通戦略実施本部アドバイザーとして、青果物にとどまらず、県産品全体のブランド化、流通対策の取組に対し、助言や提言を行った。
- 平成 27 年から令和 4 年まで 4 期にわたり、本県農林行政の基本指針である「ながさき農林業・農山村活性化計画」の推進委員に就任し、同計画の策定や進行管理に対し、助言や提言を行った。



市場に入荷されている長崎県の果実



中部・関西ながさき会総会での片山氏

### 3. 今後の展望

- 現在も、JA 全農ながさき中部・関西ながさき会会長、長崎県産品ブランド化・流通戦略実施本部アドバイザーに就任しており、引き続き市場流通の最前線の知見を基に長崎県産農産物の販路拡大・ブランド化への貢献が期待される。

# 特別賞 受賞部門：特別部門

いっばんしゃだんほうじん ながさきけんりょうゆうかい  
一般社団法人 長崎県猟友会

代表者名 会長 すぎたに かずひこ  
杉谷 和彦

市町名 長崎市

発足年 昭和 35 年



## 1. 組織の概要

構成員数	会員：県内各地域の 33 猟友会 構成員：2,013 名（令和 5 年 3 月 31 日現在）
活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・昭和 35 年、狩猟知識の普及、狩猟道徳の向上を通じて、有益鳥獣の保護、鳥獣資源の確保及び狩猟の発達を図ることを目的に設立。平成 26 年一般社団法人化。</li><li>・県内で唯一、狩猟にかかる法令及び猟具等に関する専門的知識を有する団体として、県とも連携し捕獲従事者の確保育成、法令順守、安全対策の普及啓発等に取り組む。</li></ul>
活動成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 狩猟免許試験対策として受験者への事前講習会を開催するとともに、県の委託事業により、狩猟免許の新規取得者等を対象に、捕獲技術研修を行い、わなや銃の使用に関し、座学や実習(わなの設置や止め刺し、銃の実射等)により捕獲従事者を指導。併せて捕獲時の事故防止や法令順守の周知など捕獲従事者の安全確保のための研修等を実施し、狩猟免許所持者数の増加に貢献。</li><li>・ 捕獲従事者育成の取組などにより、本県のイノシシの捕獲頭数は年間 4 万頭前後と高い捕獲圧を維持し、イノシシによる令和 4 年度の農作物被害額暫定値はピーク時である平成 16 年度の 2 割程度まで減少し、本県の農業の維持発展に多大に貢献。</li></ul>

## 2. 受賞の理由

- (1) 長崎県猟友会は、本県や市町と連携した捕獲従事者の確保・育成等の取組を通じ、狩猟免許所持者の増加や捕獲技術向上による捕獲圧の強化等によりイノシシ等有害鳥獣による本県の農作物被害額の減少に大きく貢献。
- (2) 今後増加が懸念される野生動物の市街地出没に対しても、重要な役割を担っている。



わなの捕獲技術研修の様子

## 3. 今後の展望

- ・長崎県猟友会は、市町と連携し、農作物被害対策としての 3 対策（防護、棲み分け、捕獲）の一つの柱である捕獲対策を主に担うとともに、野生動物の市街地出没時の対応等、今後とも活躍が期待される。